



2026

学校だより **本荘** *Smile*

令和7年度 第58号
令和8年3月24日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

令和7年度修了式のお話。夢は続くよどこまでも♪だから人生は楽しいですよ。

令和7年度 修了式

夢は続くよ どこまでも

本日、今年度の熊本市立本荘小学校修了式を挙行了いたしました。修了式とは、その学年のすべての教育課程（学習や行事など）をすべて終えたことをお祝いし、締めくくる式です。

1学期や2学期の終わりの「終業式」とは異なり、学年の最後に行われる修了式には「この1年間の学びをしっかりと修了しました」という修了証（通知表）を授与する大切な意味があります。

また、子どもたちが一つ上の学年へ進むための「心の準備」をする式でもあります。

各学年の代表のこどもたちに、手渡した「修了証」は、この1年間で心も体も大きく成長したことの証です。ご家庭でも、お子様がやり遂げたこと、頑張ったことをぜひたくさん褒めてあげてください。また、修了式では、一枚の写真を見せました。それは五十七年前、私が三歳の頃の写真です。あどけないこどもが、長い年月で今ここに立っているのだということを伝えたかったのです。

1年前の4月、期待に目を輝かせていたこどもたちは、この1年間で心も体も驚くほどたくましく成長しました。本日、持ち帰ります「修了証」は、その一步一步の努力の結晶です。

式の中で、私はこどもたちに「夢は続くよ、どこまでも」という題でお話をしました。夢とは、将来の職業だけを指すものではありません。今のワクワクを大切に、自分を信じて歩み続けることそのものが、未来へと続く大きな夢になります。以下にその全文を載せます。（続きは裏面です）

みなさん、おはようございます。今日は、今の学年の課程をすべて終え、修了証を受け取りました。ご進級おめでとうございます。

この写真、だれだと思いませんか。これは校長先生の57年前、3歳ぐらいの頃の写真です。こんなに小さなこどもも、今みたいに成長できるので

す。人ってすごいね。あなたがたも成長しています。1年前の4月、あなた方の目は期待に満ちあふれてキラキラしていましたね。今日、こうして
遅く成長した皆さんの顔を見ることができて、校長先生は本当に嬉しいです。

今日は、みなさんにどうしても伝えたい言葉があります。それは、「夢は続くよ、どこまでも」という言葉です。みなさんは「将来の夢は何です
か?」と聞かれたら、どう答えますか?・・・、プロ野球選手、ユーチューバー、お医者さん、ケーキ屋さん……。もちろん、なりたい職業を思い浮か
べるのも素晴らしいことです。でも、校長先生が考える「夢」は、もう少し広いものです。

夢とは、ゴールテープのことではありません。「明日、あのアニメの続きが見たいな」「あのお花をきれいに咲かせたいな」「友達ともっと仲良
くなりたいな」。そんな、皆さんの心の中に生まれる「小さなワクワク」のすべてが、夢の種です。夢は、一つ叶ったら終わりではありません。鉄棒
で前回りができるようになったら、次は逆上がりに挑戦したくなる。本を1冊読み終えたら、次の物語が読みたくなる。そうやって、一つのワクワ
クが次のワクワクを連れてくる。だから、夢はどこまでも、どこまでも続いていくのです。

もし、途中で道に迷ったり、失敗したりしても大丈夫。夢の道は一本道ではありません。寄り道をして、止まってもいい。その先には、必ずまた
新しいワクワクが待っています。

さて、ここで皆さんに、もう一つ大切な言葉を贈ります。それは「志(こころざし)」という言葉です。「夢」と「志」。似ているけれど、少しだけ違
います。「夢」は、自分がやりたいこと、自分がなりたい姿です。「ケーキ屋さんになりたい」「サッカーが上手になりたい」。これは自分の心をワクワ
クさせる大切なエネルギーです。では、「志」とは何でしょうか。それは、「誰かのために、こんなことをしたい」という願いのことです。例えば、
「おいしいケーキを作って、食べた人を笑顔にしたい」「サッカーでチームのみんなを元気づけたい」「困っている人がいたら、そっと手を差し伸
べられる人になりたい」等、自分の「やりたいこと」が、誰かの「うれしい」につながったとき、夢は「志」に変わります。自分のためだけの夢は、
かなった瞬間に終わってしまうかもしれません。でも、「誰かのために」という志は、バトンのように次へとつながり、どこまでも、どこまでも続
いていくのです。皆さんがこれから新しい学年で、勉強したり、運動したりするとき、「これは誰の笑顔につながるのかな?」と、ほんの少しだけ考
えてみてください。その小さな思いやりが、この学校を、そして未来の社会を温かく照らす光になります。

校長先生の夢も、まだまだ続いていきます。たとえ、皆さんと離れても、先生も自分の夢の道を一步一步歩いていきます。さて、先ほど「夢」が
「誰かのために」という願いに変わったとき、それは「志(こころざし)」になるとお話ししました。実は、校長先生にも強い「志」があります。

それは、「これからも学校の応援団として全力で応援すること」です。皆さんがこの学校で、毎日楽しく、安心して学べるようにすること。それ
が、校長先生のこれまでの志でした。そしてこれからも、もっとたくさんのこどもたちが笑顔になれるように、がんばっていきます。それが、校長
先生のこれからの「志」です。皆さんも、これから勉強やスポーツを頑張る中で、「これは誰かの笑顔に繋がっているのかな?」と、時々思い出して
みてください。

そして、令和8年度になる4月からも、「思いやりの心で笑顔の本荘小」にしてください。みんな、そして先生方、よろしく願います。

ご家庭でも、お子様が手にする修了証を囲みながら、そして、校長の語りを読みながら、ぜひ言葉
にして褒めてあげてください。その励ましが、次なる学年への大きなエネルギーとなるはずです。
(校長)

校長先生の虫眼鏡 「修了式全プレゼン資料」

